

新潟県長岡地域振興局長賞

税金から気付き感謝の気持ち

長岡市立青葉台中学校

三年 橋本 奈々美

税金。これを聞くとどんなことを思うだろうか。国民のために使われていて、良い印象の人もいれば、商品などの値段が高くなるという良くない印象の人などもいてさまざまだろう。私は、値段が高くなること、税金がゴミの処理と教科書の支給に使われていることしか知らなかった。なので、これからも税と関わっていく者として、もう少し知ろうと思った。

税金というと、消費税というイメージだったけど、会社が納めたり、車や土地・建物を所有している人が納めたりなど、消費税が全てではないことを知った。そして、国や地方にそれぞれ納められた税金が多くのことに使われている。

例えば、教育費。教科書だけでなく、机やいすにも使われている。それを知って、改めてもっと大切に使うと思った。他にも、校舎や施設の建設にも使われていて、最近、教室についたクーラーも税金から出ていることを知り、有り難いと思った。全国の教育に関することに使われている税金を考えると、想像がつかないくらいの額で、それが自分たちのために使われている。そのおかげで、私たちは良い環境の中で自分の教科書を使

って勉強することができる。それを当たり前だと思わずに、感謝の気持ちを忘れないようにしたい。

その他にも、環境や健康に関することに使われている。ゴミの処理や復興、雪の多い地域では除雪にも使われている。そのどれにも、多くの税金が必要だ。けれども、そのおかげで、住みやすい環境の中で暮らしたり、衛生的に暮らしたりできる。税金は医療の場面でも使われていた。皮膚科に行った時に、代金を払わずにお薬をもらえた。それは市の助成で税金からきている。中学三年生まで、その助成を受けることができ、たくさんの子供やその親のためになっていると思う。自分も助成を受けさせてもらっている者として、感謝したい。

今回、税金のことを知って、税金は多くのことに使われている、たくさんの人のためになっていることを知った。集められている。直接ではなくても、誰かのおかげで今の生活を送ることができる。なので、税金は一種の協力だと思う。これからも、今の暮らしは、たくさんの方の協力で成り立っているということを心に留め、感謝したい。